

ダイヤルロック DL1000型

取扱い説明書

① 使用する方式を決定します。

番号自由変換式 施錠時に 任意の暗証番号を入力して使用する。

番号固定式 暗証番号を再登録するまで同じ番号を使用する。

② 使用する方式に切り替えます。 (購入時は、固定式 0000番 に設定しています。)

固定式に変更する場合

- ①表面ツマミがOPEN位置にあることを確認する。
 - ②裏側切り替え部 Aが 自由変換設定位置にあることを確認する。
 - ③ダイヤルを回転させて暗証番号を設定します。
 - ④裏側切り替え部 Aの溝を硬貨又は、マイナスドライバーで縦にして固定位置に合わせます。
 - ⑤完了 (設定した暗証番号のみの施解錠操作となります。)
- < 再登録も同じ手順です。>

自由変換式に変更する場合

- ①表面がOPEN位置にあることを確認する。
- ②裏側切り替え部 Aの溝を硬貨又は、マイナスドライバーで横にして 自由変換設定位置に合わせます。
- ③完了

* 施錠 ・ 解錠のしかた

自由変換式

施錠方法 ①表面ツマミをOPEN位置にして任意の暗証番号に合わせます。
②ツマミをCLOSE位置まで回転して施錠します。
③ダイヤルを暗証番号以外の数字に乱し 施錠完了。

解錠方法 ①暗証番号に合わせてツマミをOPEN位置に回転して解錠ができます。
②解錠後は暗証番号以外の数字にして下さい。

固定式

施錠方法 ①表面ツマミをOPEN位置にして設定している固定暗証番号に合わせます。
②ツマミをCLOSE位置まで回転して施錠します。
③ダイヤルを暗証番号以外の数字に乱し 施錠完了。

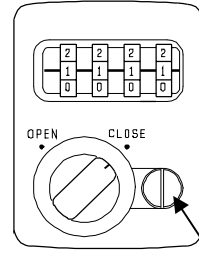
解錠方法 ①暗証番号に合わせてツマミをOPEN位置に回転して解錠ができます。
②解錠後は暗証番号以外の数字にして下さい。

*** 注意: ダイヤル数字は必ず線上に合わせてご使用下さい。
施錠時は暗証番号以外の数字に乱して完了です。**

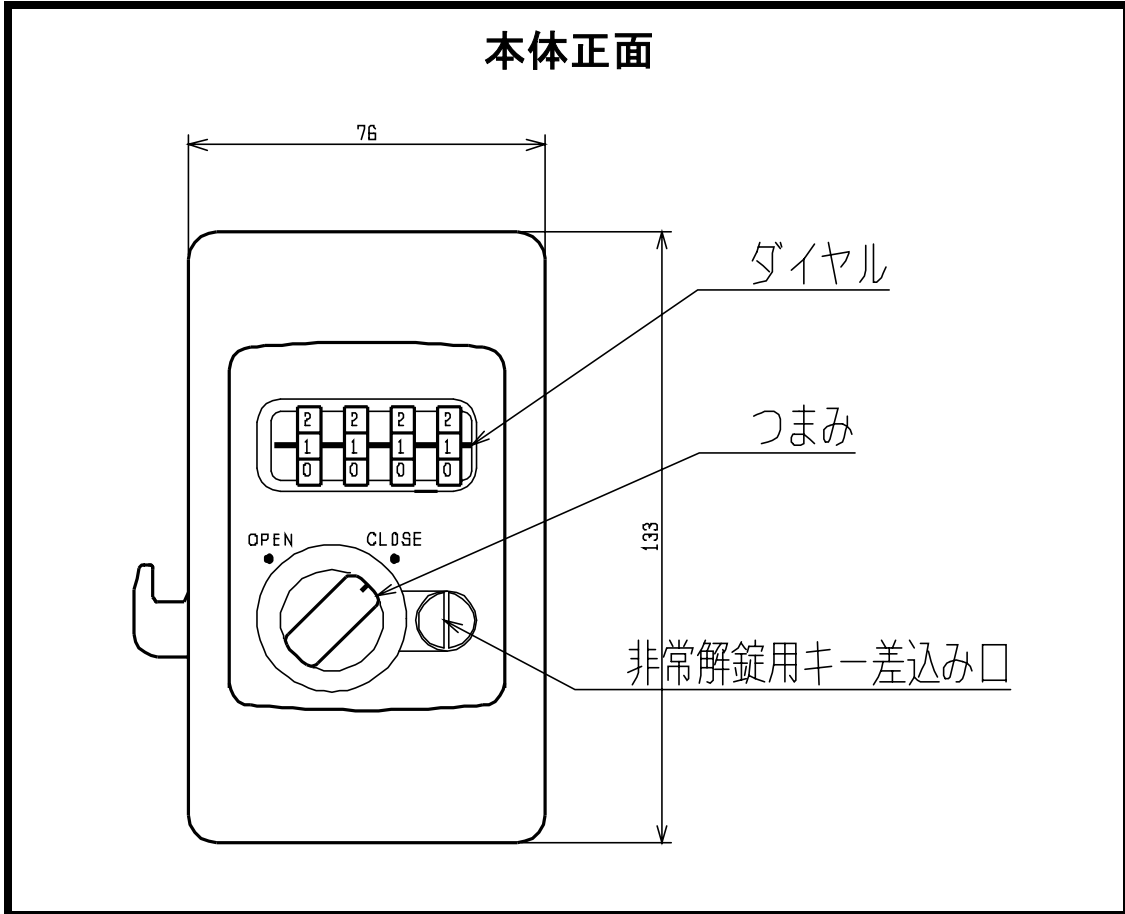
* 非常解錠時の操作方法

DL-MKK(マスターキー)による番号検索方法

- ① 本体表面鍵穴に鍵を差込み右に 90° 廻して下さい。
- ② 各ダイヤルを順次、カチッと音がして止まるまで軽く上方向に回転して暗証番号を表示して下さい。
- ③ 4桁の検索が終わりましたら鍵を元の位置に戻して鍵を抜いて下さい。
- ④ ツマミをOPEN位置にして解錠ができます。



鍵差込み口



* 梱包内容

部品名	材質	仕上げ	サイズ	個数
ダイヤルロック本体	ABS樹脂・鋼	アイボリー(IV) ネオブラック(NB)	—————	1個
ロックカバー(裏面)	ABS樹脂	グレー	—————	1個
ストライクプレート	鋼	ユニクロ	—————	1個
本体・ロックカバー 固定用ネジ	鋼	三価クローム	ISOトラス小ネジ M4x18 ISOトラス小ネジ M4x22 ISOトラス小ネジ M4x25	各4本
ストライクプレート 固定ネジ	鋼	三価クローム	十字穴付サラ木ネジ 2.7x16	2本

販売元 川喜金物株式会社

大阪市西区南堀江2-9-28

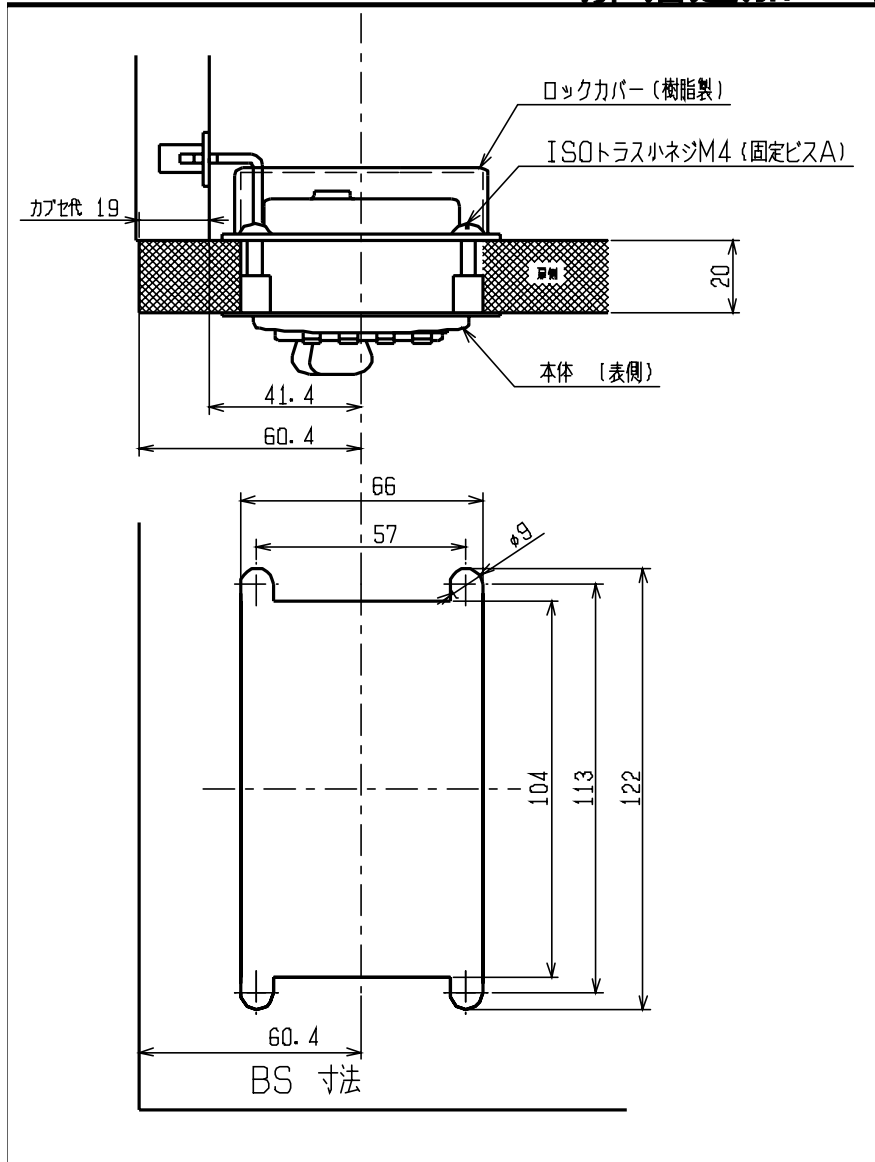
TEL06-6538-3801(代) FAX0120-06-3806(フリーダイヤル)

ダイヤルロック DL1000型

・適用扉厚 20~30mm

掘込加工寸法図 一覧

・ 扉掘込加工寸法図



・ 固定用ビスA

ISOトラス小ネジ M4

サイズ

扉厚

M4X18mm = 20~23mm用

M4X22mm = 24~26mm用

M4X25mm = 27~30mm用

* 扉の厚みに応じて固定ビスAを上記3種より選択し ご使用下さい。

* 固定ビスにて 本体とロックカバーをしっかり固定して下さい。(4ヶ所)

上記寸法は、扉厚20mm カブセ代19mmの場合を表しています。

* BS寸法の出し方 (参考)

$$\text{BS寸法} = 41.4 + \text{カブセ代}$$

(例 41.4 + 19mmカブセ = 60.4mm)

* ストライクプレートは 扉厚や使用状況によって異なります。

裏面の寸法図を参考に、位置決め及び加工を行なって下さい。

* 上記ストライクプレートは、側板面に掘込した状態を表しています。

注 意 / ストライクプレートは扉厚や使用状況によって取付け位置が異なります。

販売元 川喜金物株式会社

大阪市西区南堀江2-9-28

TEL06-6538-3801(代) FAX0120-06-3806(フリーダイヤル)